

---

# 世にも奇怪な短冊達

衣牡李

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

世にも奇怪な短冊達

### 【Nコード】

N7054A

### 【作者名】

衣牡李

### 【あらすじ】

それは梅雨の某日。七夕の短冊を巡る奇妙な話。ほぼ100%実話。

（前書き）

これはほぼノンフィクションです。『ほぼ』というのは、  
公は男ではないからであって… 実際主人

それは僕の通う高校のある街の商店街。

すっかり廃れてしまったと思っていたが、昼間通ると結構な賑わいがある。

時期は七夕。道には周辺の保育園の園児の願いが書かれた短冊のぶら下げられた笹が並んでいる。

中には保育園の先生が書いてあげたのであろう整った字のものも、

園児自身が拙い字で書いた微笑ましいものもあった。

——ムシキ〇グがほしいです——

「あーなるほど」

——おばあちゃんのあしがなおりますように——

「うつわぁ！　この子めっちゃ良い子！！」

保育園児と言えば偽りなく素直な時期だと思う。

だがここに来て、どんどんあらぬ方向へ移りつつあるのだった。

——セーラー〇ーンになりたい——

「ああ、小さい子ってそういうのに憧れるよな——て、ちょっと待て。

セーラー〇ーンの年代かこいつら？

今ってプリキュ〇とかそういうのじゃね？」

——ガオレン〇ヤーになりたい——

「2つくらい前だよ」

僕らの中で園児に対する疑問がふつふつと湧き始める。

けれどそれは、まだ序の口。

商店街中間にて。

——きんいろのカブトムシと——

「カブトムシとおー」

——くわがたを——

「くわがたをおー」

——かってもらいました——

「って、もはや願いじゃねえじゃねえか！……！」

しかアーし！！

ラスボスがまだ控えていた。

商店街の外に差し掛かったときだ。

一人の友達が、目の前に迫る短冊の一つに書かれたことをボソッと  
呟く。

そして、見るからに眉間に皺を寄せ、ハア！?という顔をした。

「何？」

「いやいやいやいや！」

彼が指差す先には――

うちゅっ

りぴーとあふたみー

う  
ち  
ゆ  
う

もはや何でもねえ——！！！！！！！！

梅雨の合間の晴れがのぞく某日。

完。

（後書き）

初コメディーでした。あの日の面白さが伝わればいいんですが…。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7054a/>

---

世にも奇怪な短冊達

2010年12月14日19時13分発行